



兵庫県立明石南高等学校
77回生年次通信 No.64
2023年2月2日発行

総合学科発表会が行われました

1/26(金)に総合学科発表会が行われました。2年次生は各ゼミ代表によるポスターセッションを行いました。代表の皆さん工夫を凝らした発表お疲れ様でした。声の大きさ、立ち位置と目線、表情やボディランゲージ等をさらに意識すれば「聴かせる発表」になっていくと思います。次回に期待しています。また体育館での全体発表では1年次生の「地域産業学習」、3年次生の「課題研究」の代表者発表が行われました。これから皆さんは研究論文の作成に本格的に取り組んでいきますが、3年次生の発表は大いに参考になったと思います。全体発表では2年次生の伝統音楽選択者による琴の演奏も行われました。少ないですが当日の様子を写真で紹介します。



大縄跳び大会が行われました

1/29(月)のLHRで藤田杯と銘打ち、大縄跳び大会が行われました。天候にも恵まれ、楽しいひとときを過ごせました。入賞クラスの皆さんおめでとうございます。またHR委員の皆さんはルール説明、結果発表、回数カウントの仕事ご苦労様でした。最初の集合状況や体操服忘れについて宮崎先生から注意を受けましたが、学校生活の様々な場面で「主体的に」行動できるようにもっと意識して下さいね。結果は下記のとおりです。

【大会結果】

- 1位 4組 54回 (A29回、B25回)
- 2位 2組 36回 (A12回、B24回)
- 3位 5組 26回 (A10回、B16回)



校外活動紹介

◆サッカー部・田中裕隆さん(5組) 全国高校生審判育成プロジェクト参加

1/20(土)~23(火)に静岡県で行われた高校生審判育成プロジェクトに田中裕隆さん(5組)が参加しました。全国から6名の高校生レフェリーが参加し、審判技術の向上に向けた研修を行いました。以下に田中さんの感想文を掲載します。

今回高校生審判育成プロジェクトに参加させていただき、研修を通して多くの貴重な体験をすることができました。ご指導いただきました東京都高体連審判部の先生方、中村太様、名木利幸様、その他関係者の皆様に感謝申し上げます。

研修の一環で高校選抜チームの練習試合の審判を担当させていただきました。その中で、自信を持ってシグナルを示すことと、オフサイドラインをしっかりと合わせる事が出来ました。反対に、プレーを予測したポジショニングと、自分が下した判定をきちんと説明することが出来ませんでした。

私は説明することや表現することが苦手で、いつも選手に説明を求められた時には、しっかりと説明をすることが出来ず、選手たちに不信感を与えてしまうことがよくありました。研修に参加して「判定する力があっても、説明する力がないと試合が荒れる」ということをあらためて実感しました。これからは見た事象をしっかり説明できるポジションを取ることと、選手に順序立てて説明するようにしようと思いました。

研修で一番学んだことは、審判をする上での心のコアとなるものを持つことです。研修に参加する前は、特にコアとなるものを持たず、ただ楽しいという動機だけで審判をしていました。しかし、ただ楽しいという理由だけでは、強い信念を持って高いレベルでやってきた選手達と同じピッチに立てないと思いました。これからは適格に判定を下し、いつもベストな位置からプレーを見て、選手達が安全にプレーできる環境を作れる審判員になりたいです。

1月の出欠状況

1月はのべ数で欠席者180名、遅刻者86名、早退者23名でした。授業日数が17日ありましたので1日平均10.6人の欠席になります。12月の平均(9.3人)よりやや増えました。進路実現に向けてより一層の健康管理をお願いします。1月に入ってコロナ感染が少しずつ増えてきています。インフルエンザと併せて、今後も感染防止に努めて下さい。